

今伊勢町連区

創刊号

地域づくり協議会だより

発行日
発行

平成24年1月1日(日)
今伊勢町連区地域づくり協議会
一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原71番地3(今伊勢町出張所内)

TEL 28-9007

設立総会を開催
平成二十四年度より魅力ある地域づくりに向けた活動を開始!


より良い地域づくりを目指して、十二月十五日(木)今伊勢公民館において、今伊勢町連区地域づくり協議会設立総会が開催されました。

七月から準備委員会を組織し、八月二十三日(火)には谷一夫一宮市長を招いて「エリアミーティング」を開催するなど、今伊勢町連区の特性を生かしより効率的な運営を行うための組織づくりを行いました。

総会では、会則案、平成二十三年度役員選出、平成二十四年度事

希望に満ちた
 輝かしい平成二十四年の新春を
 お迎えのこととお慶び申し上げます
 本年も引き続き今伊勢町連区の運営に、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます

今伊勢町連区地域づくり協議会
 会長 田中義造



業計画案及び予算案について審議され、満場一致で可決されました。

平成二十四年度については、今までどおりの事業を行うこととなりますが、今後は、各部会が開催され活発な議論が展開される中で、事業の見直し等を行い、魅力ある地域づくりを目指します。



多数の皆さんにご参加いただきました

平成二十三年度 地域づくり協議会役員

次の方が、役員に決まりました。

- 会長 田中義造
(平成二十三年度 町会長代表者)
- 副会長 田嶋清智
(平成二十三年度 町会長代表者)
- 副会長 安藤勝美
(平成二十三年度 民生協議会会長)
- 理事 加藤 優
(平成二十三年度 町会長副代表者)
- 理事 寺澤三千弘
(平成二十三年度 町会長副代表者)
- 理事 永津富貴子
(平成二十三年度 女性の会会長)
- 理事 今枝伸一
(平成二十三年度 民生協議会副会長)
- 理事 藤村雅子
(平成二十三年度 民生協議会副会長)
- 理事 石塚隆志
(平成二十三年度 児童育成協議会会長)
- 理事 今枝隆茂
(平成二十三年度 体育振興会長)
- 理事 山田正樹
(今伊勢中学校長)
- 書記 野田満男
(平成二十三年度 公民館長)
- 会計 則竹正孝
(平成二十三年度 町会長副代表者)
- 監事 古川勝敏
(平成二十三年度 民生協議会副会長)
- 監事 今枝一成
(平成二十三年度 老人クラブ連合会長)
- 生活安全部会長 寺澤三千弘
(平成二十三年度 町会長副代表者)

- 絆・福祉部会長 藤村雅子
(平成二十三年度 民生協議会副会長)
- 生涯健康部会長 寺澤徳重
(平成二十三年度 公民館副館長)
- 広報部会長 今枝伸一
(平成二十三年度 民生協議会副会長)

地域づくり協議会設立経緯

- ▼五月二十六日(木)
協議会説明会(第一回)
市から協議会について説明
- ▼六月二十三日(木)
協議会説明会(第二回)
市から協議会の交付金、予算、他連区設立経緯などを説明
- ▼七月十四日(木)
第一回準備委員会
会長選出、今後の進め方、エリアミーティング日程調整
- ▼八月四日(木)
第二回準備委員会
エリアミーティング開催内容協議、アンケート内容検討
- ▼八月二十三日(火)
エリアミーティング
- ▼九月八日(木)
第三回準備委員会

アンケート結果検証、部会について検討

- ▼十月十二日(水)
第四回準備委員会
部会構成団体決定。会則案、事業計画案、予算案の検討
役員・部会員の選任方法を協議
- ▼十二月一日(木)
第五回準備委員会
参加団体への説明会
会則案、事業計画案、予算案、役員案・部会員を決定
- ▼十二月十五日(木)
設立総会
会則案、役員案、事業計画案、予算案を承認

今伊勢小

「学習発表会」開催

十一月十九日(土)今伊勢小学校で、展示による「学習発表会」が開催されました。全体キャッチフレーズ「一人一人が芸術家 世界に一つの美術館」をテーマに、子供たち一人一人の創造力を豊かに表現した作品が展示されました。「にこにこワールド(一年)」、「い



ふしぎワールド(4年)

っぱい ゆめ いっぱい(二年)」、「ネイチャーワールド(三年)」、「ふしぎワールド(四年)」、「アレンジワールド(五年)」、「夢への絵手紙 過去へタイムスリップ(六年)」という各学年のテーマのもと、どの作品も自分たちが持てる力を十分発揮し、個性豊かな作品に仕上げることができていたと思います。

今伊勢西小

「学校祭」開催

十一月十九日(土)今伊勢西小学校で、子供たちが日頃の学習の成果を心豊かに力いっぱい表現す

る場として、「学校祭」が開催されました。

「できたよ できたよ こんなこと(一年)」、「みんな2年生(二年)」、「ヒマサとかがやきの石(三年)」、「ようこそ南吉の世界へ(四年)」、「宝暦治水と薩摩義士(五年)」、「空気がなくなる日(六年)」という各学年のプログラムの中で、一年間学習してきた成果を、群読や合唱、合奏や劇などいろいろな表現方法を駆使して発表していました。どの学年も見ごたえのある内容でした。



ヒマサとかがやきの石(3年)

協議会だより第2号は、3月1日発行予定です。